

科目名 (科目番号)	地域連携論 (064271)	教員名 小林聖美・他	学科等	理学療法	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		水・6	A316研究室(小林)	
授業概要	地域リハビリテーションを行うにあたり、係わることが不可欠な多職種について学ぶ。多職種の専門性や具体的な業務内容を理解し、その上で患者様により良いサービスを提供する為に、どの様に職種間連携を図ることが望ましいのか考察を深める。患者様の生活を知り、その患者様を取り巻く多職種がどのようなアプローチを行うかを学び、自らが関わる場合にはどのようにアプローチを行うのかを考える。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	対象者の理解	到達目標:生活改善のために必要な多職種での支援について考えることができる。 学習内容:筋萎縮性側索硬化症患者の生活について学習する。				
	2	専門職の理解	到達目標:医療・福祉専門職の役割を理解する。 学習内容:多職種専門職の役割・業務内容を学習する。				
	3	地域における連携	到達目標:多職種連携の必要性について、自らの考えを述べる事が出来る。 学習内容:在宅へ戻るまでにどのような連携が必要か学習する。				
	4	疾患概要(ALS)	到達目標:筋萎縮性側索硬化症の疾患概要と障害について理解する。 学習内容:筋萎縮性側索硬化症の概要について学習する。				
	5	理学療法・理学療法士の理解	到達目標:在宅における理学療法士の役割・支援内容について理解する。 学習内容:在宅における理学療法士の役割・業務内容について学習する。				
	6	対象者の支援	到達目標:対象者の生活支援について、自身の考えを述べる事が出来る。 学習内容:対象者の在宅生活をどのように支援するか、多職種の関わりを含めて考える。				
	7	グループワーク1	到達目標:対象者の生活支援について、グループで意見を発表することができる。 学習内容:対象者の在宅生活をどのように支援するか、他学科の学生と意見交換を行う。				
	8	グループワーク2	到達目標:対象者の生活支援について、グループで意見を発表することができる。 学習内容:対象者の在宅生活をどのように支援するか、他学科の学生と意見交換を行う。				
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
成績評価の方法・基準	レポート(50%) + グループワークで作成したワークシート(50%)						
教科書							
参考図書							
教員からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・他学科の学生と合同で授業を行うことがあります。(一部時間変更を行う場合があります) ・7・8回目の授業A・Bクラスに分けて、別日に行います。 ・レポートはコメントを付して授業内で返却します。ワークシート内にて課題を提示します。ワークシートについては、評価表に沿って評価を行います。 						